

# 平成29年度施政方針

平成29年第1回美祢市議会定例会より抜粋



## 美祢市長 西岡 晃

本年3月には新「美祢市」が誕生し、まる9年が経過し、10年目という節目の年を迎えることとなります。

これまで1市2町の一体感の醸成はもとより、「第一次美祢市総合計画基本構想」の実現のため「前期及び後期基本計画」並びに個別計画との整合性を図りながら、諸施策が順調に推進されておりますことは、市民の皆様のご理解とご協力の賜と、心から御礼申し上げます。

さて、平成29年度の施策・事業に当たりましては、私が市長に就任して以降、これまで様々な機会でお知らせしております、

- 市民が主役のまちづくり
- 住みたくなる、住み続けたいまちの創造
- 教育環境の充実
- 地域経済の活性化、雇用の拡大
- 市行財政改革の推進

の5つの柱と、第一次美祢市総合計画後期基本計画に掲げる事業を着実に推進していくとともに、定住促進や少子・高齢化対策、地域経済の活性化などの最重要課題への早急な対応を進めていくために、今、一番必要な施策、将来の美祢市のために最も有効な施策に重点を置き、限られた予算の中で効果的・効率的に事業を実施いたします。

この度、初めての予算編成ということで、これまでの経験と移動市長室などでいただいた市民の皆様の声、冒頭申し上げた5つの柱と総合計画などを基礎とし、限られた財源の効果的・効率的な配分、経営感覚を持った財政運営による事業の選択など、最少の経費で最大の効果を発揮させることを念頭に置き、新しい美祢市の創造に向けた予算編成を行ったところであります。

さて、平成27年に実施しました国勢調査の確定値が昨年発表され、日本の総人口が調査開始後初めて減少に転じたことから、いよいよ本格的な人口減少時代を迎えたと、危惧しているところであります。

本市におきましても、5年前の調査から人口が8.6パーセント減少し、26,159人となり、県内市の中でも高い減少率となりました。

人口減少問題と定住促進は本市にとりまして喫緊の課題であり、財政問題にも大きく関わってまいります。人口減少による市民生活への影響は、経済活動の縮小や、生活の利便性が低下するなど、活力と潤いあるまちづくりを創造しがたい状況になってまいります。

私は市長としてその重責を再認識し、市民の皆様に対し、本市の未来を見据えたまちづくりを進める決意であります。

そこで、平成29年度の本市当初予算を、

## 「新しい美祢市創造予算」

と位置付けました。

そして重点プロジェクトの最上位であります「定住促進」、つまり「住みたくなる、住み続けたいまち」の実現に向け、その最も核となる教育充実都市を推し進めて、第一歩を踏み出します。

また、冒頭申し上げた5つの柱とともに、第一次美祢市総合計画後期基本計画に掲げています、

- 1 「安全・安心の確保」
- 2 「観光交流の促進」
- 3 「産業の振興」
- 4 「ひとの育成」
- 5 「行財政運営の強化」

の5つの基本目標を融合させ、必要で有効な施策・事業は継続・拡大し、前例や既成概念にとらわれることなく、経営感覚を意識し、柔軟かつ大胆に施策・事業を実施してまいります。

まず、重点プロジェクトの最上位に位置する

## 「定住促進」

すなわち「住みたくなる、住み続けたいまちの創造」についてであります。

人口減少対策は本市にとりまして最大の課題です。人口減少や少子高齢化に的確に対応するため、子育て世代や住宅環境整備に対する支援を充実します。

まず、子育てしやすい環境を整備するため、国・県の制度を上回り、県内トップレベルである保育料軽減制度の継続や、乳幼児に対する医療費助成及び、小学生の医療費の自己負担額の助成を継続して実施します。

また、本市住宅団地の宅地販売の取り組みを強化し、定住施策として住宅取得費用の一部補助や、三世帯同居あるいは近居になった場合の補助を今までどおり実施し、定住と転入への動きを加速させます。

また、結婚後の新生活に係る費用の一部を助成する「結婚新生活支援事業」を新たに創設し、婚姻後の定住促進を図ります。

次に、重点プロジェクトの二番目は、

## 「国際交流の推進」

についてであります。

美祢市台北観光・交流事務所については、台湾や東アジアの情報をいち早く入手し、海外からの観光客の誘致活動の拠点として機能しております。また、これらの情報を山口県や県内市町に発信し、県全体として観光振興のみならず、国際交流や、文化、教育などの学術交流、さらに特産品などの販路拡大につなげるための役割も担っていることから、これまでどおり運営していきます。

次に、重点プロジェクトの三番目は、

## 「六次産業化の推進」

についてであります。

農林産物を生産する一次産業を振興し地域の活力を生み出します。

また、農林産物やこれを加工しミネコレクションに認定しました商品のブラッシュアップや、ブランディング

を行い、ミネコレクションの起爆剤になり得るエース商品を創出することで、事業全体のブランド力を高めてまいります。

最後に、重点プロジェクトの四番目は、

## 「ジオパーク活動の推進」

についてであります。

「Mine秋吉台ジオパーク」として世界ジオパークの認定を目指します。また、観光客の受け入れ態勢を整えるため、大岩郷周辺やジオ関連施設の整備事業を実施し、ジオサイトを活用しての学習、観光を実施することで、ジオの魅力を高めるとともに、市内の観光全体の活性化を図ってまいります。

さらに、国立大学法人山口大学との「包括的連携・協力に関する協定」に基づき、同大学の研究・活動の拠点となるサイエンスサテライトとして「山口大学秋吉台アカデミックセンター」を開設し、秋吉台科学博物館の魅力をアップしていきます。

次に、5つの基本目標について、ご説明申し上げます。

## 1 安全・安心の確保

全ての人々が共に助け合い、支え合いながら、住み慣れたこのまちで、安全で安心して暮らしていただけるまちづくりを推進します。

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、障害福祉サービスの種類ごとの実施内容など、平成30年度から向こう三箇年の方策について定める、「障害福祉計画」を策定します。

また、今年度策定しました「新美祢市病院改革プラン」に基づき、二つの市立病院の経営改革に取り組むとともに、質の高い医療を安心して受けていただけるよう、引き続き両病院の安定的な経営を支援いたします。

次に、増加傾向にある空き家等の対策のため、実態調査を実施し、危険家屋の除却を推進するため除却費の一部を補助します。

## 2 観光交流の促進

次に第2の「観光交流の促進」及び第3の「産業の振興」についてであります。

これは、5つの柱のうち、「地域経済の活性化、雇用の拡大」にあたります。

本市の観光資源は、経済や雇用、教育、文化などに関連する重要な役割を担っています。そのさらなる振興を図るため、「秋芳洞周辺地域環境整備状況調査」を実施し、秋芳洞内及び周辺の老朽化した観光施設・設備の長期的な改修計画を策定することとしています。その中で、優先順位の高いものを見極め、改修が必要と判断したものについては随時、改修していくこととしております。